

【教育目標】

進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.6

令和3年12月23日

中央台東小学校

校長 林 和 樹

83日間、「充実」と「実りの多い」2学期となりました。

「まん延防止等重点措置」の中、不安を抱きながらスタートした2学期でしたが、振り返れば、学年別での「学習の発表会」や「持久走記録会」、「ふくしま教育週間公開」や個別懇談会の実施。6年生の「修学旅行」を始め、5年生の日産工場、3年生の中央台分遣所、1・2年生のアクアマリン見学など校外学習にも出かけることができました。また、4年生は中止となった方部音楽祭に代わり「中央台4校音楽祭」をオンラインで開催するなど、充実と実りの多い「83日間」となりました。

本日、無事に終業式を迎えられたのは、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と心から感謝しております。特に、感染レベル2・3の際には、同居する家族に発熱・風邪症状等がある場合は登校を控えていただくなど、たいへんご不便をおかけしたことを改めてお詫びいたします。また、マスクの着用や手指消毒、換気の徹底、「三密」を避けるための様々な制限にも、子どもたちは本当によく頑張ってくれました。子どもたちに感謝するとともに、ほめてあげたいと思います。

さて、現在、本市では新規感染者0が68日間続いています。ぜひ、明日からの冬休みでは、コロナ禍でたまった疲れやストレスを、ご家族と一緒にゆっくりと癒やして欲しいと思います。なお、新たな変異株の広がりも懸念されることから、外出の際には、引き続き、感染対策の徹底をお願いします。また、日々の体調管理として、健康観察アプリ「リーバー」をぜひご活用ください。

最後となりましたが、令和4年が穏やかで明るい年となりますことを、そして、皆様にとってよい年となることを心からお祈り申し上げます。



「ふくしま子どもSNS相談」について

福島県教育委員会は、児童生徒を対象とした「SNSを活用した子どもの心サポート事業」を行っています。裏面に【児童生徒及び保護者用】通知を掲載しましたのでご参照ください。なお、スマートフォン等の通信・情報端末機器等を小学生が利用する際は、必ず、保護者の管理のもと、約束したルールを守るようにご指導をお願いします。また、通知に記載されている「QRコード」は他の方に教えない、拡散しないようにしてください。

国立教育研究政策研究所の調査では、小学生の9割近くが「仲間はずれ・無視・陰口」の被害を受け、また加害経験も同様の傾向であることから、誰もが被害者・加害者になりうるいじめの実態が明らかにされています。深刻ないじめや重大な事態を未然に防止するためには、小さなトラブルのうちに早期に発見し、迅速・適切な対応が必要不可欠です。また、いじめや交友関係以外にも、子どもは勉強や体の成長など、色々なことで困っていたり不安を感じていたりするものです。「小学生だから、悩みなんかないだろう」は禁物。身近なおとなが子どもの様子や表情をしっかりと見て、いつでも相談にのってあげることが最も大切です。

しかし、成長とともに親や先生などには言いにくい、相談しにくいことも増えてきます。そんなとき、知らない相手と安易にSNS等でつながり・誘われ、犯罪被害に遭うことがたいへん心配されます。ご家族でSNS等の危険性を再度確認いただくとともに、安心して相談できる専門機関・場所があることを話し合い、被害の未然防止について考える機会にしてほしいと思います。